

人との出会いは自身の成長と幸せをもたらす宝

島田市レクリエーション協会の理事長を務める小澤康恵さん。持ち前の明るさと長年の保育士生活で培われたコミュニケーション力を発揮し、地域間を結ぶ活動を通して交流の場づくりに力を注いでいます。

【人生を変えるきっかけ】

30年以上、保育士として子どもたちと深い愛情を持って向き合ってきた小澤さん。保育現場を退いてからも、子育てをサポートする「きしゃぼっぱ」でボランティア活動に参加しています。「きしゃぼっぱは、知人の紹介で参加しました」と言う小澤さんは、その活動に加わったことが、その後の人生を大きく変えるきっかけになったと振り返ります。



「それまで保育園の中だけで精いっぱい過ごしてきましたが、園の外にはまだまだ多くの人が子育て支援を

求めていることが分かりました。私の経験を少しでも生かせる場所が他にもあることを知り、勇気を出して、もっと色んな立場の人たちと関わっていいこうと思えるようになったんです」

人たちに楽しんでもらっています。

こうした活動が板についた頃、同志と島田市レクリエーション協会を設立。「それまでは出会った人からアイデアを得て、私という人間を



人と人のつながりを広げる立役者

小澤康恵さん（伊太）

【同志とともに動き出す】

周囲に目を向けるようになった小澤さんは、ボランティア活動にも参加。自らも澄み切った音色が特徴の「オートハープ」を弾いたり詩吟を吟じたりして、訪れた

生かしてもらっていました。今度は自ら旗を振り、発信する番だと思っただけです」と当時の意気込みを語ります。積み上げてきた経験を、世代を超えた人と地域の交流に役立てたいと思ったそうです。

【人と人をつなぐ架け橋】

昨年11月には「いくみの自然と人と交流レクリエーション」を企画。30人の市民が伊久美地区を訪れ、地元の方々

と触れ合いました。「あつという間に定員に達するほど、他の地域との交流に興味を持っていく人が多いんです。後日、何人かの参加者から、伊久美地区のリピーターになったとお話を伺いました。この出会いが宝物になり、皆さんの人生を一層充実したものにしてくれたら、最高ですね」と期待を寄せます。

「私の人生、人儲け」と幸せそうに話す小澤さん。それは「人との出会い」の大切さを知り、感謝しているからこそその言葉です。「一人でも多くの人が、良い出会いをできるように、人と人、地域と地域を結ぶ活動を続けていきたいと思っています」と朗らかに語ってくれました。

小澤さんの明るい性格と元氣な声は、自然とみんなを楽しんでいる気持ちにさせてくれます。これからも交流の場とともに、笑顔の輪を広げていってほしいです。



伊久美地区でゲームを楽しむ参加者たち

Shimadajin File #63

